

地域における職業訓練の質の検証・改善業務

検証対象とする訓練分野・ヒアリング対象選定

公的職業訓練実施状況において、応募倍率が高く、就職率が低い分野としてIT分野、デザイン分野（デジタル）があり、この問題を解消するために訓練内容、就職支援について検証することとした。

ヒアリング実施状況

- ヒアリング実施時期 令和5年7月～9月
- ヒアリング実施者
 - ① 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部
 - ② 福岡労働局
 - ※ 職業訓練実施機関へは①が、職業訓練修了生採用企業及び職業訓練修了生へは②がヒアリングを実施した。
- ヒアリング先

職業訓練実施機関	3 機関（求職者支援訓練）
職業訓練修了生採用企業	3 社
職業訓練修了生	3 名

ヒアリング結果を踏まえた今後の対応について

採用企業からは、人手不足を理由にすぐに誰でも採用するわけではなく、職業訓練で知識・技能は元より、コミュニケーション能力を身に付けている事も重要であるとの意見が多かった。また、訓練科目については、データベースの基本であるSQLの知識を学んでいることは、非常に効果的であるとの意見が多かった。

受講者及び企業のニーズ等については、今回のヒアリングに留まらず日頃から把握し、機構福岡支部や福岡労働局が定期的実施している求職者支援訓練実施機関への訪問の場において情報提供を行うほか、公的職業訓練実施カリキュラムに反映させることも検討し、訓練修了生の就職促進に繋げていくこととしたい。

ヒアリング実施結果概要① (職業訓練実施機関)

【質問】

【職業訓練実施機関からのご意見】

訓練カリキュラムについて工夫している点はどのようなものか。

- チーム開発演習に力を入れており、Webシステムの改修や開発、実際のPG・SE業務に極めて近い内容になっているため、修了生からも仕事に活用できていると大変好評を得ている。
- 福岡・九州地域ではJavaプログラマーの需要が多いが、今後はPythonやC++の需要も見込めるとの情報を得て、適宜カリキュラムに反映させている。
- 自社採用したエンジニアと定期的に情報交換していて、訓練に反映させた方が良いと思われる情報があればカリキュラムに反映させている。
- 一つの言語に精通すると、他の言語を利用する際にも応用が利き、対応に苦慮しないと思われるため、特にC#に重点を置いた内容にしている。

就職支援について工夫している点はどのようなものか。

- 人前で自己表現することに慣れ、かつ「自分の考えや思いを客観視して考えること」を身に付けてもらうため、受講生間でディスカッションを行う時間を設けている。
- 受講生から、修了生の声や進路について知りたいという声が寄せられるため、修了生にアンケート（配属後の最初の仕事は？、訓練で学んだことがどのように役立った？等）を実施し、受講生に伝える取り組みを行っている。
- 講師が実際にハローワークシステムへアクセスし、その様子を画面共有で受講生に見せつつ、求人検索の仕方や求人票の見方の説明を行っている。
- 「IT技術者＝プログラマー」と思い込んでいる方がいるので、プログラマー以外の職種もあることや、それぞれのキャリアパスについての説明を行っている。

その他、運営する上で工夫している点はどのようなものか。

- 習得度や進み方が遅い方には、「困っている方は教えてください。」と声掛けを行い、重点的にサポートをしている。一方、進みの早い方には、更に力が付くプラスアルファの課題や、人に説明をする練習をさせ、受講生同士で教え合う雰囲気を作りつつ、レベルアップを図っている。
- テキストに記載されている内容が実際に現場で使われている内容と異なる場合があるため、現場に即した内容で言い換えて、記述を併記するようにしている。また、プログラムに正解はないため、同じ結果を出すために色々なパターンを紹介するように心掛けている。

ヒアリング実施結果概要② (訓練修了生採用企業)

【質問】

【訓練修了生採用企業からのご意見】

訓練により得られたスキルや知識のうち、採用後に特に役立っているのはどのようなものか。

- データベースの基本であるSQLの知識は実際の業務に役立っており、必須とも言える。
- 訓練でプログラミングの基礎を勉強しているので、仕組み、プログラム等の業務に入りやすい。
- 訓練内容全般が業務と関連性があり、業務の遂行上、大変役立っている。
- Web知識は避けて通れない分野であり、訓練において基礎から学んでおり、特に役立っている。

訓練において、特に習得しておくことが望ましいスキルは知識はどのようなものか。

- 職務を遂行するうえでのコミュニケーション能力。特に業務における報告、連絡、相談は徹底すべき事であり、重要である。採用面接時においても、この点を重視している。
- 基本設計（工程）のエビデンス知識は必要なため、Excel、Word、PowerPoint等のソフトに関するスキルアップも求められる。
- 顧客より必ず聞かれるSQL知識は、充実していると周りとの差がつくと言える。
- データベース（SQL）基礎は必要で、その他言語として、Java、C#言語の基礎知識は必要である。
- 顧客対応上、社会人としてのマナーが出来ていること。

訓練修了者の採用に際して未受講者（未経験者）と比較して期待している点はどのようなものか。

- 訓練受講により、即戦力の人材に成り得るものと期待しており、基礎を持っているので飲み込みが早く、未経験者との差がすぐに出る。
- 訓練修了生は、技術的には経験者とは言えず即戦力にはならないが、社会人経験があり、スムーズに顧客に溶け込むことができ、顧客対応が上手い。
- 未経験者の採用も実施しており、会社としての業務上の最終的な目標は同じだが、訓練修了生と比較すると未経験者は育成上も時間が掛かる。

ヒアリング実施結果概要③ (訓練修了生)

【質問】

【訓練修了生からのご意見】

訓練内容の中で、特に就職後に役立ったのはどのようなものか。

- グループワークは実務に沿った勉強ができ、採用企業からの評判も良いものの、グループワークを実施している訓練はあまりないと現在勤務している会社の人事担当者から聞いた。また、メンバーとのコミュニケーションが深まり、同時に考え方の相違に伴うトラブル時の対処方法等も学べた。
- 4つの言語（C#言語、Java言語、データベース（SQL）、Python言語）の中でも特にC#言語、Java言語、データベース（SQL）が業務に役立っている。
- 職業人講話は、実際に働いている方の業務の話が聞いて大変参考になった。

訓練内容において、就職後にあまり活用されなかったのはどのようなものか。

- 特になく、関連するものは全部役に立っている。
- Python言語については活用の機会が少ない。現在の職務の経験値を深め、機会があればPython業務にも参画したいと考えている。
- 訓練当初に学んだ数学的な2進法・10進法の知識は役に立っておらず、業務で使うこともない。

就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキルや知識はどのようなものか。

- プログラムのテストを実施するうえでのエビデンス（比較・証明等）の作成において、エクセル（関数等）、PDFを使用する事が多く、訓練の中でExcel、Word、PowerPoint等を高いレベルで学べれば良かったと思う。
- 困ったときにどう調べたらよいか、検索の仕方、調べ方を訓練の中で教えてもらえば就職後も役に立つと思う。
- データベース（SQL）は汎用性が高いので、SQLプラス一つの言語というカリキュラムがあっても良いのでは。